

兵庫医療大学
社会学連携推進機構
2019年度報告書



兵庫医療大学
社会学連携推進機構

はじめに

2015 年 4 月に開設された兵庫医療大学 社会学連携推進機構は、地域社会と本学の連携活動に関わる方針「社会学連携ポリシー」（裏表紙参照）に基づき、本学 3 学部・共通教育センター・3 研究科と連携しつつ、大学の重要な使命の一つである「地域貢献」を実践しています。

本機構の活動については、2017 年度から年 1 回開催している本学アドバイザーボード会議（今年度は 2019 年 6 月 7 日に開催）にて学外有識者の皆様からご指導ご鞭撻を賜り、質の保証と転換に取り組んでいるところです。また、開設以来、年度報告書を発行し、「社会学連携ポリシー」だけでなく、2018 年度からは測定可能な到達目標も指標として、振り返りを実践しています。これらの取り組みが評価され、2019 年度私立大学等改革総合支援事業タイプ 3 「地域社会への貢献（地域連携型）」に採択されました（申請大学 180 校中 47 校採択）。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）予防の観点から予定していた活動を一部中止せざるを得なかったことが残念ですが、2020 年 2 月中旬までに実施した 2019 年度の社会学連携推進機構の活動ならびに自己点検・評価を本報告書に取りまとめました。関係者各位におかれましては、「地域と共に学ぶ大学」として兵庫医療大学がさらに発展していくため、是非、ご一読の上、忌憚のないご助言・ご意見を賜れば幸いです。

2019年度の活動報告

地域創生を目指して

<到達目標>

- ①-1：新卒学生における兵庫県内就職率 50%以上
- ①-2：地域創生に資する Project Based Learning 実践学生 10 名以上/年
- ①-3：兵庫県多自然地域の企業における新製品開発支援 2 件以上/年

2019 年度も、薬学部「薬活オウルズ」は、兵庫県の助成を受け、「もっと兵庫の薬草を知ろう・広めよう・味わおうプロジェクト」として、丹波市山南町和田の一大イベント「さんなん和田漢方の里まつり」運営支援、薬草啓発イベント「薬草を食べよう！」開催、薬草組合とうき生産部会・丹波市立和田小学校との連携活動「当帰薬栽培プロジェクト」運営、薬草組合とうき生産部会と「共同圃場」での当帰栽培などを実施しました。

また、丹波市山南町和田小学校の 4 年生（36 名）を対象として本学にて薬草特別講義・実習を開講しただけでなく、夏休み中の同小児童（19 名）と保護者を対象として「おいしい薬草教室」を丹波市立薬草薬樹公園・遊工房にて開催しました。



これらの活動により、微力ながらも丹波市山南町における地域創生に貢献するとともに、参加学生 77 名（延総数）が PBL を実践できました。

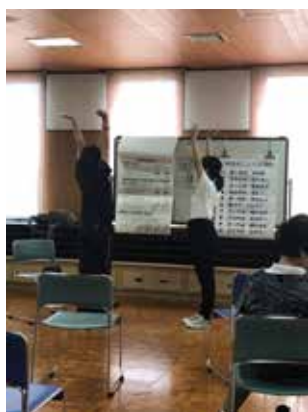
なお、2019 年度の 3 学部生の兵庫県下への就職率は 62.9%でした（前年度 56.7%）。

地域医療を担う人材の育成

<到達目標>

- ②-1：ポーアイコモンズ／篠山コモンズでの活動 10 回以上/年
- ②-2：地域医療の発展に資する Service Learning 実践学生 30 名以上/年

今年も、神戸市主催のエイズ予防サポートネット神戸・世界エイズデーイベント（3 名）、ハートフルフェスタ（3 名）、夏休み親子 UD 体験教室（20 名）において本学 3 学部の学生がサービス・ラーニングを実践しました。



篠山コモンズでは、今年度も、篠山市主催の健康教室「お試しクラブ～いきいきデカボ一体操～」を支援しました。毎回多くの地域住民が参加し、学生達と一緒に楽しんで健康づくりに取り組んでいただきました。一方、ポーアイコモンズでは 2 回のサービス・ラーニングを実践できました。残念なことは、

COVID-19 の影響を受け、今年度のコモンズ活動が、昨年度実績（14 回開催；学生参加数 42 名）に比べて、開催数・学生参加数ともに減少したことです（表 1）。

表 1. 2019 年度 兵庫医療大学ポーアイ・コモンズ／篠山コモンズでのサービス・ラーニングの実施実績

日 時	コモンズ	参加学生数 (参加住民数)
6 月 8 日（土）	ポーアイ	7（8）
8 月 23 日（金）	篠山	2（40）
8 月 30 日（金）	篠山	3（42）
9 月 6 日（金）	篠山	3（44）
9 月 13 日（金）	篠山	2（38）
9 月 20 日（金）	篠山	2（40）
11 月 2 日（土）	ポーアイ	4（30）
2 月 7 日（金）	篠山	1（27）
2 月 14 日（金）	篠山	1（31）
2 月 21 日（金）	篠山	1（33）
2 月 28 日（金）	篠山	COVID-19 予防の観点から 参加中止
3 月 6 日（金）	篠山	
3 月 13 日（金）	篠山	
3 月 27 日（金）	篠山	
合計	10 回	26 名（333 名）

共同研究・受託研究の推進

<到達目標>

- ③-1：企業との共同研究・受託研究の実施 5 課題以上/年
- ③-2：他大学との共同研究の実施 1 課題以上/年
- ③-3：共同研究の成果として論文・学会発表または特許出願 1 件以上/年

今年度の共同研究・受託研究は、前年度からの継続研究 11 件と、2019 年度から開始した新規 4 件です（表 2）。2016 年度以降の平

均受入件数は14件／年に達し、摂南大学との共同研究も継続していますので、到達目標③-1と③-2は達成しています。

表2. 2019年度 共同・受託研究一覧*

	共同・受託研究機関	学内担当者#
継 続	摂南大学 (共同研究)	薬・准教授 清水 忠
	国立研究開発法人理化学研究所 (共同研究)	薬・教授 戴 毅
	国立大学法人浜松医科大学 (共同研究・課題1)	薬・准教授 中野 博明
	国立大学法人浜松医科大学 (共同研究・課題2)	薬・准教授 中野 博明
	株式会社 西山酒造場 (共同研究)	薬・教授 前田 初男
	千寿製薬(株) (共同研究)	薬・教授 田中 明人
	ユニ・チャーム(株) (共同研究)	リハ・教授 川口 浩太郎
	(株) ビーテンド (受託研究)	リハ・教授 川口 浩太郎
	(株) メディカルサポート (共同研究)	薬・教授 甲谷 繁
	国立研究開発法人理化学研究所 国立大学法人大阪大学 (共同研究)	薬・教授 田中 明人
新 規	(株) ホームーイオン研究所 (共同研究)	リハ・教授 玉木 彰
	(株) カセビエティケア (受託研究)	薬・教授 戴 毅
	兵庫医科大学 国立研究開発法人理化学研究所 (共同研究)	リハ・ 准教授 宮本 俊朗
	奈良県薬事研究センター (共同研究)	薬・講師 岩岡 恵実子
	マクセル株式会社 (共同研究)	リハ・教授 坂口 顕

* 連携先機関等との守秘契約のため、取り組んでいる共同・受託研究の課題名、テーマ等は記載していません。

薬：薬学部、リハ：リハビリテーション学部。

共同研究の成果発表を以下に示します。なお、リハビリテーション学部・川口、塚越らによる発表5)の成果は、「ユニ・チャーム、世界初の技術 高齢者の体幹支えるパンツ開

発」(共同通信社、<https://this.kiji.is/590446876025062497?c=39546741839462401>)、「歩行支援おむつ来月発売 はくだけで体幹支える>

(東京新聞、<https://www.tokyo-np.co.jp/article/economics/list/202001/CK2020011702000159.htm>

1) として新聞掲載されました！



- Huang T. Okauchi T. Hu D. Shigeta M. Wu Y. Wada Y. Hayashinaka E. Wang S. Kogure Y. Noguchi K. Watanabe Y. Dai Y. Cui Y., “Pain matrix shift in the rat brain following persistent colonic inflammation revealed by voxel-based statistical analysis,” Mol. Pain, 2019 Jan-Dec;15:1744806919891327. doi: 10.1177/1744806919891327. PubMed PMID: 31709891; PubMed Central PMCID: PMC6886279.
- 神田浩里, 小暮洋子, 下農修司, 小川菜里, 伊藤久富, 宮崎寿次, 位上健太郎, 山本悟史, 戴 毅, Fermented ginseng suppresses AITC-induced nocifensive behavior (AITC 誘発性疼痛行動に対する発酵オタネニンジンの抑制効果), 日本薬理学会, 2020年3月17日, 横浜.
- 小川菜里, 藤川弘平, 山本奈緒, 小暮洋子, 神田浩里, 伊藤久富, 宮崎寿次, 位上健太郎, 山本悟史, 戴 毅, マスタードオイル誘発性疼痛に対する発酵及び非発酵オタネニンジンの鎮痛効果, 日本薬学会, 2020年3月27日, 京都.
- 藤川弘平, 小川菜里, 山本奈緒, 小暮洋子, 神田浩里, 伊藤久富, 宮崎寿次, 位上健太郎, 山本悟史, 戴 毅, カプサイシン誘発性疼痛に対する発酵及び非発酵オタネニンジンの鎮痛効果, 日本薬学会, 2020年3月27日, 京都.
- 塚越 累, 笹山賢一, 近藤 唯, 井上康司, 石川浩樹, 小澤拓也, 尾崎晴美, 川口浩太郎, “身体動作をサポートする機能的パンツ型紙オムツの開発,” 第56回日本リハビリテーション医学会学術集会, 2019年6月, 神戸.

「ひとづくり」支援

<到達目標>

- ④-1：薬剤師生涯学習セミナーの開催 2 回以上/年
- ④-2：地域在宅看護実践力育成プログラム受講者 10 名以上/年
- ④-3：PT・OT 臨床カステップアッププログラム受講者 10 名以上/年

今年度も、文部科学省認定「職業実践力育成プログラム (Brush-up Program: BP)」として、看護学研究科では「地域在宅看護実践力育成プログラム」を開講し 11 名の修了者に、医療科学研究科では「PT・OT 臨床カステップアッププログラム」を開講し 13 名の修了者に、履修証明書を発行しました (表 3)。なお、2020 年度は「在宅看護実践力育成プログラム」を 12 名が、「PT・OT 臨床カステップアッププログラム」を 14 名が受講する予定です。

薬学研究科では、COVID-19 の影響により地域の薬剤師の皆さまに生涯研修セミナーを 1 回しか提供できませんでしたが、今年度から「中医薬実践講座 中級」(8 回シリーズ)を 5 月 18 日 (土) から 9 月 21 日 (土) にわたり開催しました。受講生 28 名 (すべて薬剤師) のうち 25 名が修了しました。本講座は評判もよく、来年度も開催予定です。

全学的には、COVID-19 予防のため中止にしたイベントもありましたが、表 4 にまとめたように、今年度も 60 回の講演会、セミナー等を開催しました (昨年度実績 44 回)。高齢者から子供まで幅広い世代の地域住民に、健康科学から哲学や宇宙科学までの広範囲な科学を身近に感じ、考え、学ぶ場を「地域とともに学ぶ大学」として提供しました。

表 3. 年度別 BP 受講者・修了者数

年度	地域在宅看護実践力育成プログラム	
	受講生	修了生
2016	18	14
2017	12	13
2018	20	20
2019	11	11
2020	12	

	PT・OT 臨床カステップアッププログラム	
2016	14	13
2017	7	7
2018	6	5
2019	16	13
2020	14	

総数	130	96
----	-----	----

表 4. 2019 年度に実施した講演会、セミナー等

開催日	講演会、セミナー等の演題 (担当者*)
4 月 21 日 (日)	バスボムを作って化学反応を みてみよう (薬・岩岡 恵実子)
6 月 8 日 (土)	夏目前の「紫外線」対策講座 ～身の回りの様々な“光”を 活用しよう！～ (薬・川島 祥)
6 月 22 日 (土)	第 10 回生涯研修セミナー 現場での薬の比較と使い分け (Fizz-DI 代表 ひより薬局・小島 悠史)
6 月 27 日 (木)	「チーム力」を高める コーチング！ ～世界を経験した指導者の視点から～ (順天堂大学スポーツ健康科学 部長・吉村 雅文)
7 月 12 日 (金)	木星・土星と七夕の星 (共セ・加藤 精一)
7 月 12 日 (金) 7 月 15 日 (月)	体力測定会 ～自分の今の体力を知り、 健康生活に活かししょう！～ (看・土井 有羽子)

7月13日(土) 11月20日(水) 3月14日#(土)	クリニカル・カフェ あたりまえを考え直す ・隣の芝はなぜ青いのか？ ・幸福になるための条件とは ・優しさと甘やかすこと (共セ・紀平 知樹、常見 幸)
7月27日(土)	超おもしろラボ！ 簡単バスボム作り (薬・岩岡 恵実子)
7月28日(日)	科学で遊ぼう！ いろいろ ふしぎサイエンス体験！ (薬・甲谷 繁、塚本 効司、 川島 祥)
8月11日(日) 8月18日(日) 9月8日(日) 9月29日(日) 11月11日(月) 11月25日(月) 12月9日(月) 12月15日(日)	花倶楽部 2019 (リハ・伊藤 斉子)
8月13日(火)	バスボムを作って化学反応を みてみよう (薬・岩岡 恵実子)
9月14日(土) 11月10日(日)	障害のある方の思いと生活 映画を見て みんなで考えてみませんか (リハ・佐野 恭子、清水 大輔)
9月20日(金) 10月2日(水) 10月31日(木) 11月29日(金)	健康みなおし教室 ～トイレに悩む前に～ (リハ・森 明子)
9月21日(土)	今日からはじめる ストレスマネジメント (看・立垣 祐子、向畑 毅)
9月23日(月) 10月14日(月) 11月4日(月)	がん患者・家族のグループ サポートプログラム おしゃべりカフェ (看・山内 洋子)
10月16日(木) 10月18日(金) 10月23日(水) 11月1日(金) 11月6日(水) 11月8日(金) 12月13日(金) 12月20日(金) 1月15日(水)	65歳大学 (リハ・有吉 正則)
10月19日(土) 11月30日(土)	脳と心の健康チェック (共セ・土江 伸誉)
11月2日(土)	ちょっと気になる尿もれの話 (リハ・森 明子)

11月2日(土) 11月9日(土)	はじめてパパの育児講座 ～遊ぼう！学ぼう！楽しもう！～ (看・阿川 雄太)
9月27日(水) 10月4日(水) 10月18日(水) 10月25日(水) 11月1日(水) 12月6日(水)	介護予防推進サポーター 養成プロジェクト ＜神戸市中央区健康づくり続け隊＞ (リハ・永井 宏達、 薬・桂木 聡子)
11月9日(土) 12月7日(土)	リラクゼーションを取り入れた 健やかな生活を目指して (看・鈴木 みゆき、荻野 待子、 三谷 理恵、山田 絵里、 宮前 奈央)
12月2日(月)	嚥下機能低下予防講座 ～いつまでも自分の口から 食べ続けるために～ (薬・桂木 聡子)
12月3日(火)	肺の健康を考える ～その息切れは歳のせいですか！～ (京都大学医学部附属病院 病院講師・佐藤 晋)
12月19日(木)	令和元年第2回地域ケア会議& みんなで支え合う地域づくり (看・土井 有羽子)
12月21日(土)	ポーポキ・ピース・ネットワーク 第9回ワークショップ 「健康って、なに色？」 (薬・桂木 聡子)
1月4日(土)	バスボムを作って化学反応を みてみよう (薬・岩岡 恵実子)
1月6日(日)	太陽の脅威とスーパーフレア (京都大学教授・柴田 一成)
2月15日(土)	自分らしい人生を全うするために 今できること ～ヘルスリテラシーの観点から～ (運動器ケア しまだ病院 理事長・島田 永和)
2月20日(木)	地域で最後まで暮らすには ～これからの在宅医療～ (清水メディカルクリニック 副院長・清水 政克)
3月21日#(土)	第11回生涯研修セミナー 薬剤師が臨床研究をはじめるには (京都大学大学院医学研究科 特定講師・岡田 浩)
3月21日#(土)	まち歩き探検隊 ～Rainbow カフェ～ (共セ・上山崎 悦子)

* 薬：薬学部、看：看護学部、リハ：リハビリテーション学部、共セ：共通教育センター。

COVID-19 予防のため開催中止。

「ものづくり」支援

<到達目標>

- ⑤-1：企業との共同研究の実施 2 課題以上/年
- ⑤-2：企業における課題解決に資する Project Based Learning (PBL) 実践学生 5 名以上/年
- ⑤-3：企業における新製品開発支援 2 件以上/年

表 2 に示したように、今年度は 8 企業との共同研究を実施しました。ユニ・チャームとの共同研究では、新製品「ライフリー 歩行アシストパンツ」の開発に大いに貢献しました。本研究の基礎的研究として、医療科学研究科の大学院生 1 名、リハビリテーション学部の学生 6 名が、PBL に取り組み、腹圧を高め骨盤帯の安定化を図ることで歩行をはじめとする身体機能にどのような影響が及ぼされるかを明らかにしました。

一方、「薬活オウルズ」が取り組む「もっと兵庫の薬草を知ろう・広めよう・味わおうプロジェクト」では、薬学部 5 年生 2 名と 6 年生 2 名が、当帰葉茶の長期間飲用効果の評価や、抹消血管拡張機能成分の含量分析を PBL として実践しました。また、同プロジェクトでは、薬草組合とうき生産部会と協働し、試行的に大阪市中央卸売市場において生鮮野菜としての当帰葉を販売しました。



「まちづくり」支援

<到達目標>

- ⑥-1：地域の健康づくりに資する Service Learning 実践学生 20 名/年
- ⑥-2：「兵庫医療大学健康づくりサポーターバンク事業」新規登録者 5 名/年

今年度も、本学公認サークル「ポーアイ多職種連携学生ネットワーク（ポーアイネット）」の学生達が、本学コモンズにて地域住民の健康づくりを支援するだけでなく（表 1）、ドナルド・マクドナルド・ハウス神戸の運営を支援し、30 名以上の学生がサービス・ラーニングを実践しました。

また、2018 年度に立ち上げた「兵庫医療大学 健康づくりサポーターバンク事業」では、リハビリテーション学部・永井らが今年度も開講した「介護予防推進サポーター養成プロジェクト」の修了生のうち 19 名に新たに登録いただき、総登録者数は 63 名になりました。登録サポーターの皆さんは、精力的に地域の健康づくりに取り組み、港島ふれあいセンター（毎月第 4 月曜日）、籠池地域福祉センター（毎月第 3 月曜日）、脇の浜高齢者介護センター（毎月第 4 火曜日）、清風公民館（毎月第 2 月曜日）、玉津地域福祉センター、宮本地域福祉センターなどで、デュアルタスクや、オリジナルのプログラムを駆使しつつ、介護予防体操教室を 42 回も自主運営されました。同教室への参加者総数は、地域住民 770 名、登録サポーター 128 名に上りました。登録サポーターの皆さんの熱意と行動力により、健康づくりサポーターバンク事業の目的「地域の、地域による、地域のための健康づくりの実践」が様々な地域に、着実に

普及していることを、大学として非常に嬉しく思っています。

また、介護予防体操教室を運営する登録サポーターの交通費を本学が提供できない問題点も、神戸市から助成金を獲得し、自主的に解決いただきました。ただただ頭が下がる思いです。本学としても、この課題を改善すべく、支援方法等を検討していく所存です。

なお、今年度から、リハビリテーション学部の永井と学生たちが、毎月、フォローアップ研修も兼ねて登録サポーター定例交流会を開催しています。介護予防体操教室や地域における課題などについて学生たちとも意見交換し、地域における健康づくりの主体となる登録サポーターの皆さんとともに本学が学ぶ場として活用しています。



積み上げてきた知恵と経験を活用しつつ、社会学連携ポリシーに則り社会学連携活動に取り組んだ賜物です。そして、全教職員が積み上げてきた社会学連携活動とその成果が、2019年度私立大学等改革総合支援事業タイプ3「地域社会への貢献（地域連携型）」採択に結びつきました。今回の採択は、本機構だけでなく、個々の教職員の承認欲求を満たすだけでなく、本学が取り組む社会学連携活動の質的転換を進める上で、強力な原動力の一つなると期待しています。

一方、2019年2月中旬から緊急事態を招いているCOVID-19により考えさせられることがあります。それは、不要不急の外出を控えるという状況において、本学の社会学連携活動ならびに登録サポーターの活動が、全く停止したことです。これらの活動の第一歩は、実施会場に地域住民の皆さんに足を運んでいただくことです。その第一歩を踏み出せない状況においても、地域住民の健康増進・介護予防を目的とする社会学連携活動を実施できる環境をソフト・ハードの両面から整える必要性を強く感じさせられました。この点も踏まえて、本機構は、現状に甘んじることなく、地域と共に学ぶ大学として、より一層、地域貢献に取り組んでいく所存です。

以上

自己点検・評価

今年度の活動を通して、測定可能な成果評価指標として設定した全ての到達目標を達成できました。本学教職員それぞれが、個々に

社学連携推進機構 2019 年度報告書

発行日 2020 年 5 月

発 行 兵庫医療大学

社学連携推進機構

〒650-8501 兵庫県神戸市中央区港島 1-3-6

TEL 078-304-3111

【兵庫医療大学 社会学連携ポリシー】

①地域創生をめざして

兵庫県は、他の地方自治体と同様に、少子高齢化、転出超過などの問題に直面しています。これらの問題点を解決するため、兵庫医療大学は、兵庫県ならびに県内の市町村と協働し、本学の知と経験を地域創生のために積極的に活用していきます。

②地域医療を担う人材の育成

超高齢社会に突入した日本では、今後さらに、地域医療の充実が求められます。兵庫医療大学は、地域社会から地域社会とともに学ぶ双方向型教育研究を実践し、高度医療専門職者として地域に根ざして地域医療を担う人材の育成に取り組みます。

③共同研究・受託研究の推進

科学技術創造立国を目指す日本において、大学の研究活動に大きな期待が寄せられています。兵庫医療大学は、本学の知的財産などの様々な研究成果を活用する共同研究・受託研究を推進し、大学の知と経験の社会還元積極的に取り組みます。

④「ひとづくり」支援

「21世紀兵庫長期ビジョン」において兵庫県は、県民主役・地域主導による一人一人が元気な成熟社会を目指しています。兵庫医療大学は、この兵庫県の取り組みを支援するため、高大連携、生涯学習、リカレント教育などの学びの場を積極的に提供し、地域社会における「ひとづくり」に、持続的に取り組みます。

⑤「ものづくり」支援

医療や健康づくりをキーワードとして「ものづくり」に取り組んでいる在兵庫企業は、独自技術の未活用、科学的根拠の不足など、様々な課題を抱えています。兵庫医療大学は、本学の知と経験を活用することにより、それらの企業が直面する課題の解決を目指して協働し、地域社会における産業イノベーションを積極的に支援します。

⑥「まちづくり」支援

「ひとづくり」と「ものづくり」だけでなく、「まちづくり」も大学に求められている社会貢献の一つです。兵庫医療大学は、兵庫県、県下の市町村、そして地域社会と協働しつつ、教職員だけでなく、学生達の地域活動への参加を促進し、大学の知と経験を活用した「まちづくり」に取り組みます。